

こだま新聞

第194号
平成23年12月

高齢化時代の義歯

12月3日、秋田市のキャッスルホテルを会場にして高齢化時代の義歯について会議がありました。講師は横手市で開業している井関先生です。先日母親がご逝去されたばかりで準備が大変だったと思います。さて、内容ですが、こちら日常の臨床でよく問題となる事項について微細に講義していただきました。一部をご紹介します。

①高齢化はどのように推移していくか。

平成18年12月の推計では平成18年で日本全国の人口に占める75歳以上の人口は10

%（10人に1人）だったのが、平成66年には25%（4人に1人）まで増加するそうです。特に65歳から74歳の前期高齢者数よりも75歳以上の後期高齢者数の増加が増えると思われています。

②8020運動との関連は

様々な調査を見ると、残存歯数の多い人ほど平均的に医療費が少なくなっていることや、残存歯数が9本以下で、義歯を使用していない人は認知症を発症する危険が増すこと、などが分かってきました。

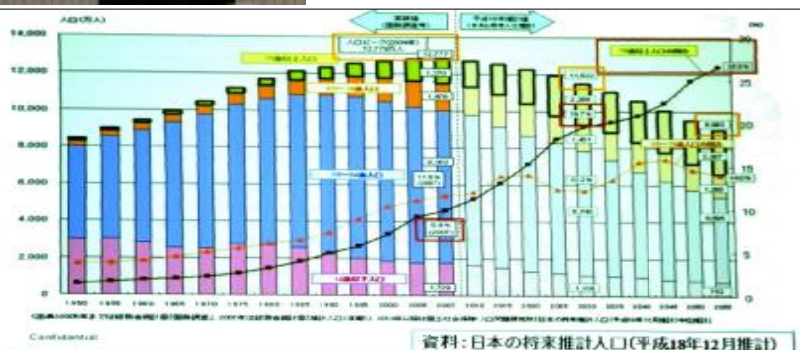
50歳以上の人を対象にして調査（平成15年）した結果では、20本以上歯が残っていた場合、8割以上人が「何でも食べることができた」と回答しています。この結果を元にして80歳で20本以上の歯を残そうという運動が始まりました。

③残存歯数と健康との関連は

しかし、一方では残存歯数が減少しても義歯を使用して噛めるようにすると健康への悪影響が少なくなっていることも分かってきています。食事のとき良く噛むことと健康が密接に繋がっているようです。

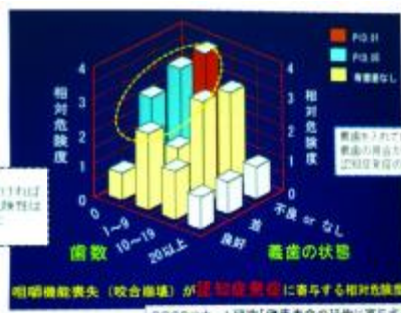
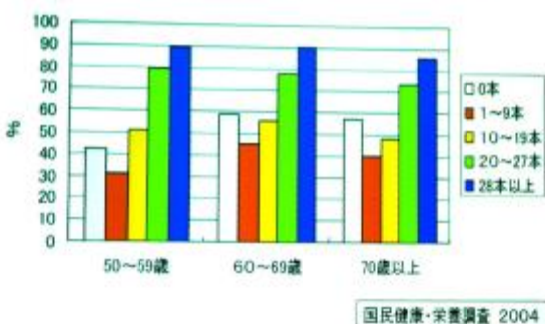


井関先生

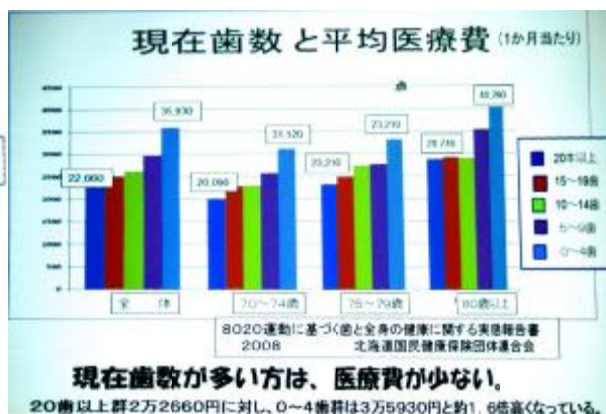


今後、少子高齢化が益々進行し、総人口も減少する。
75歳以上人口が10人に一人（2007年）から4人に一人に（2055年）

「なんでもかんで食べることができる」の割合



歯がない、少ない（9本以下）方が入れ歯を入れていないと認知症を発症する危険性が増す。



今月の行事

- | | | |
|-------------|---------------|----------------|
| 12月 | 3日 | 午後休診（学会出席） |
| | 9日 | 2歳児歯科健診 |
| | 10日 | 午後休診 |
| | 10日 | （駅からハイキング・案内人） |
| | 10日 | 午後4時 |
| | 秋田朝日放送CM大賞発表 | |
| | 10日 | 中学校桂三若独演会 |
| | 10日 | 中央児童館クリスマス会 |
| | 13日 | ヘルシーな料理作り |
| | 15日 | 寿司を握ろう |
| | 18日 | 町講演会 |
| | 地域における新たな支えあい | |
| | 19日 | まめだか 民謡集い |
| | 20日 | 北都二十日会 |
| | 23日 | 八郎潟協会クリスマス会 |
| | 30日 | 午後休診 |
| 年末年始の休診 | | |
| 12月31日～1月4日 | | |
| 1月1日 | | 裸参り |